

# 大道光秀 先生

寺川 先生は北海道で開業されていますが、ぜんそくの発作を誘発するものにはどのようなものがありますか。

大道 ダニやペットといったもののほか、ヘアスプレーで症状が出る人もいます。北海道ではシラカバやハンノキ、牧草のカモガヤの花粉によって誘発される人も多いです。

## 放置で肺機能低下も

寺川 私は猫で症状が出ました。子供のころ、猫を飼っている友達の家遊び

で行って、つらい思いをしただけです。現在は治療を継続しているのですが、自分がぜんそくだと忘れるくらい、さまざまなことについて気にせず生活できています。

大道 寺川さんくらいきちんと理解して治療に取り組んでくれればいいのですが。医療水準が向上した影響もあるのか、今の患者さんは「治って当たり前」

## 治療でスポーツも普通にできる

と思っている人も多く、ぜんそくの治療を少しやると症状がよくなると「治ったので、もういいです」などと言ってやめてしまうのです。

寺川 それはよくないですね。

大道 慢性疾患なので、症状がないからといって放置すると気管支が細くなり、肺の機能が低下し回復しづらくなります。逆に、治療を継続していれば症状をコントロールでき、スポーツも普通にできます。

寺川 患者さんが治療を中断してしまう理由はほかにあるのですか。

大道 飲み薬に慣れている人が多いせいとか、吸入療法は怖いものだと思いつている人が多いようです。患部に到達させるため、飲み薬は血液を通して全身を循環していきますが、吸入は少量の服用で患部の粘膜に直接届きます。

寺川 よく分かりました。治療に対する理解がもっと広まるといいですね。

大道 どうしたら治療を続けてもらえるか、患者さんと接しながら今も日々、模索しています。



おおみち・みつひで 大道内科・呼吸器科クリニック（札幌市）院長。札幌医科大学卒業。札幌医科大学第三内科、道立北見病院、札幌鉄道病院（現JR札幌病院）呼吸器科主任医長などを経て、2001年から現職。